

タイトル	子どもたちが夢中になって取り組むふるさと学習
名称（学校・地域）	箕輪町立箕輪西小学校
日時・場所等	上伊那郡箕輪町大字中箕輪 5 7 1 5 - 1
ホームページ	http://nishi-es.minowa-town.info/

【教育活動の内容】

赤そばの里を広めよう（6年生）

「今年は、コロナウイルスの影響で、『赤そばの里』に種を蒔かない！『赤そばの里』を観光地としている箕輪町にとって大ピンチだ！」6年生の活動は、この思いから始まりました。子どもたちは「自分たちで何か作ったり、売ったりすることを通して、学区内にある『赤そばの里』のことを広めよう！」と考え、総合的な学習の時間の活動をスタートしていきました。

『赤そばの里』のことを広めるために、自分たちで赤そばを作り、赤そばの花を使ってものづくりし、さらに『赤そばの里』のパンフレット、そして、キャラクター作りなど1年間を通して、様々な活動をしてきました。11月に行った修学旅行では、箕輪町の『赤そばの里』を伝えるために、自分たちで作った赤そばの花のしおりを見学場所や宿泊施設の方々にプレゼントをし、好評を得ました。

これらの活動が、地域の宝であり、箕輪町の宝である「赤そばの里」を多くの方々に知ってもらう機会となり、そして、西小学校のこれからの活動に繋がっていくことを願っています。



一面がピンクのじゅうたんとなります！



そばの花を使って



♪あかなちゃん♪

赤そばの花のやわらかい感じをイメージしてこの形にしました。赤そばの里の広くてきれいで平和な雰囲気をあかなちゃんの表情にしてみました。



箕輪町の
カントリーサインが、
古田人形芝居
なんだ！

古田人形芝居の歴史を伝えよう（3年生）

地域の方がどれだけ歴史を知っているのかな？



「古田人形芝居物語」を今作りに上げています！



「古田人形芝居って、箕輪町のカントリーサインになっているんだって！」「ええー、知らなかった！」3年生の活動は、この驚きから始まりました。西小学校では、4年生から入れる「古田人形クラブ」があり、自分たちの中では、身近なことだったので、箕輪町を代表することになっていたので。子どもたちは、古田人形芝居の歴史について、地元の方に聞き取り調査を行い少しずつ学んでいきました。すると、その調査の中でも、古田人形の存在は知っていても、歴史については知らないということが分かってきたのです。

そこで、箕輪町の小学校5年生とそのおうちの方に協力していただき、アンケートと取ってみると、約7割の方が「古田人形芝居の歴史を知らない」という結果が出てきました。「このままでまづい」と考えた子どもたちは、『古田人形芝居物語』を自分たちで作り、人形劇にして伝えていこうと活動を続けています。4年生での公演を目指して、今、けいこの真っただ中です！